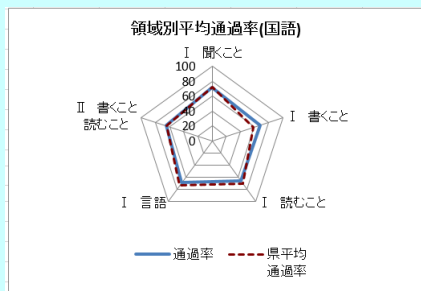
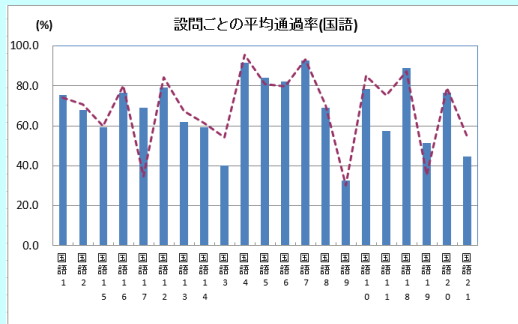


## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 68.4%, 県 69.2%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



## 本年度の結果について

- ・国語科においては、タイプⅠは69.2%、タイプⅡは65.3%の通過率であった。
- ・全体としては、基礎基本の力はおおむね定着しているという結果が出ている。しかし、通過率30.0%未満の生徒が6.2%おり、通過率上位の生徒と下位の生徒との差が大きい。
- ・無回答率は0.9%であった。特に長い文章で記述する設問においては、無解答率が高い。
- ・書く能力は定着しつつあるが、複数の資料を活用して書く力には課題があった。

### 重点課題

#### 【課題1】 三・1 (漢字の書き取り) 通過率32.7%

- ・カタカナを漢字にすることはできるが、文脈に適した漢字を書くことに課題があった。

#### 【課題2】 五・4 (資料を活用した作文) 通過率44.4%

- ・条件に沿って文章を書くこと自体に課題がある。また、グラフから読み取れる情報を比較して書く際に、一方の数値のみを挙げている生徒が多かった。グラフから読み取った情報や数値を根拠に、文章を書くことに課題があった。

### 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

#### 【課題1】

- ・漢字練習等の反復学習を継続させつつ、授業や家庭学習で新聞を活用するなど、文章に多く触れる機会を設定し、語彙の習得・実生活で使用されている漢字の習得をさせていく。

#### 【課題2】

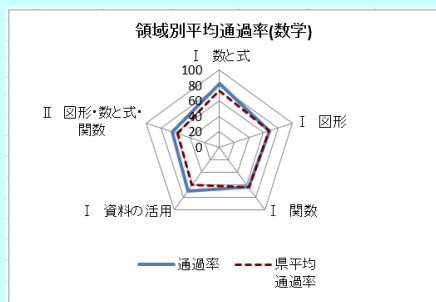
- ・これまでも、条件に沿って文章を書くことや、設問の内容を十分に理解して解答することは指導してきたが、今後も継続して行っていく。また、授業でグラフ等の資料を多く用いることで、資料を関連付けて読む力や、資料を根拠に文章を書く力を定着させていく。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	中間試験・共通問題		ポストテスト			全国プレテスト	学年末試験
目標値	通過率80.0%		通過率70.0%			通過率70.0%	通過率85.0%
実施後数値							

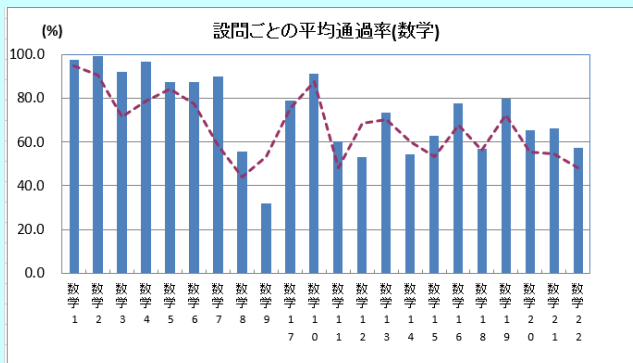
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	中間試験・共通問題		ポストテスト			全国プレテスト	学年末試験
目標値	通過率60.0%		通過率60.0%			通過率60.0%	通過率65.0%
実施後数値							

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 73.5%, 県 66.9%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



## 本年度の結果について

通過率は 73.5%, 誤答率は 26.4%, 無答率は 0.1% だった。タイプ I の通過率は 76.0%, 誤答率は 24.0%, 無答率は 0.0% だった。タイプ II の通過率は 65.1%, 誤答率は 34.7%, 無答率は 0.2% だった。分野別では数と式は 80% 以上, 資料の活用 70% の通過率であったが, 関数・図形は約 65% の通過率だった。高い通過率であった数と式に関する問題だが, タイプ I とタイプ II では約 10% の差がある。そのことから, 長い問題文を読んで事象を解釈することが弱いことが顕著であった。また, 事象を文字式で表し選択する問題の通過率が 32.1% と極端にできていない。

### 重点課題

【課題 1】 文字式の表わし方 (数学 9) 通過率 32.1%

$3a+5b$  の式で表されるものを事象から選択できた生徒が 32.1% しかいない。

$\frac{a}{3} + \frac{b}{5}$  になるものを選択した生徒が半数以上いた。

【課題 2】 立体の位置関係 (数学 12) 通過率 53.1%

直方体の一辺と垂直な面がわからない生徒が 46.9% 以上いる。誤答の大半は同じ平面上にある面を選択していた。

### 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題 1】

- 文字の含まれない式と, 数が文字に変わっている式を比較させ, 文字が数の延長であることを認識させる。その上で, 自ら問題を作成し, 説明させる時間を設定し, 理解を深める。
- 同じ内容の問題で式が変わる問題を複数させ, 思い込みで式をつくらないように, しっかりと読むことを定着させる。

【課題 2】

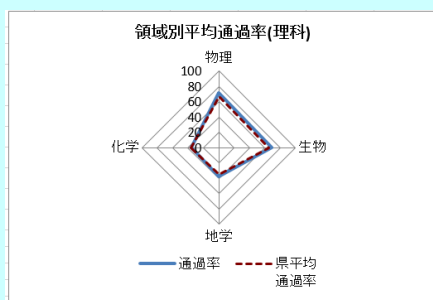
- 言葉と位置関係を覚えるだけでなく, それぞれの関係や違いを理解した上で, お互いに説明させる等の時間を設定し, 定着をはかる。

【課題 1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生中間試験			2年生 H29「基礎基本」		1年生 H29「基礎基本」	2年生 H29「全国学力」
目標値	60.0%			65.0%		65.0%	70.0%
実施後数値							

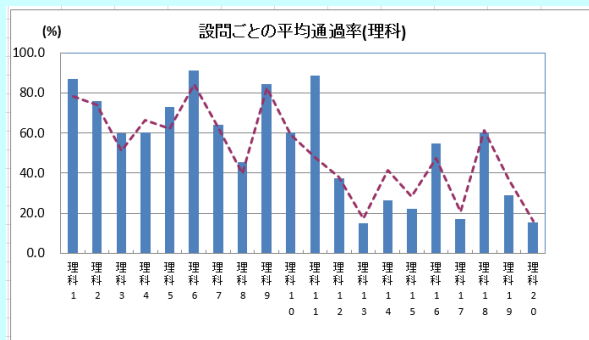
【課題 2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			2年生期末試験	2年生 H29「基礎基本」		1年生 H29「基礎基本」	2年生 H29「全国学力」
目標値			60.0%	65.0%		65.0%	70.0%
実施後数値							

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 53.5%, 県 50.8%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



## 本年度の結果について

- ・領域別の視点で見ると、物理、生物領域については基礎的・基本的な内容は概ね定着してきたといえる。(物理：71.2%，生物：69.3%) 一方で、地学、化学領域については大きな課題が見られる。(地学：38.0%，化学：35.4%)
- ・タイプ別の視点で見ると、これまでも課題として取り組んできたタイプⅡに依然として課題が見られる。(タイプⅠ：58.2%，タイプⅡ：46.5%)

### 重点課題

【課題1】 5(3) (砂岩と判断する根拠) 通過率 14.8%

- ・火成岩と堆積岩の区別がついていないことが考えられる。複数の観察結果のどれを根拠として砂岩とすべきか判断できていない。

【課題2】 8(2) (状態変化のグラフ) 通過率 15.4%

- ・パルミチン酸の質量を半分にしても、融点は変化しない。しかし、融点に至るまでの時間は短くなると応用して考えることができていない。

### 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

- ・考察をする際には、より明確に根拠を明示することを意識させる。特に、岩石をはじめ植物や動物を分類する際の視点を明確にさせる。

【課題2】

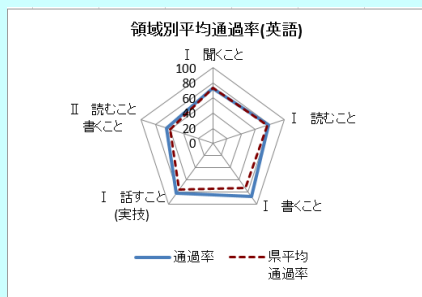
- ・実験結果をグラフ [棒グラフ, 折れ線グラフ, 近似線グラフ等] で表現させ、それを使って考察させる。さらに、そのグラフに対する発問を行い、思考を深めるように促す。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生中間試験			2年生 H29「基礎・基本」	CRT 検査		1・2年生 学年末テスト
目標値	60.0%			60.0%	60.0%		70.0%
実施後数値							

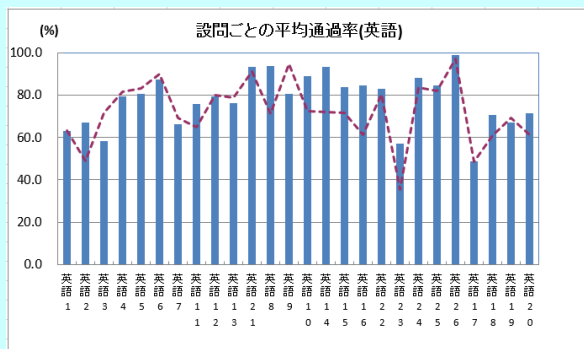
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				2年生 H29「基礎・基本」	CRT 検査	1年生 H29「基礎・基本」	1・2年生 学年末テスト
目標値				60.0%	60.0%	60.0%	70.0%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 77.7%, 県 72.4%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

全体の平均通過率は 77.7%, 誤答率 21.9%, 無答率 0.4%であった。タイプ I の平均通過率は 80.1%, タイプ II の通過率 64.4%で、基礎的な文法や文の組み立て、リスニングの理解はできていると考える。課題としては、長文読解力が不十分であり、特に表やグラフをみながら英文を読んで内容を理解する力が弱い。そのため、英文を読みとり、表に解答理由の根拠を求める問題の正答率がとても低かった。表やグラフを含む長文を読みとる力をつけさせることが優先課題である。

次に、リスニングにおいて、単数と複数を聞き取り、答える問題が出来ていなかった。単数複数をもう一度復習すると共に、リスニングもメモをとりながら聞く、リスニングポイントを与えて聞くなどの活動を授業の中に組み入れて行きたい。

重点課題

【課題 1】 2(1) 【リスニング問題 (英語での問いかけに対する適切な応答)】

(タイプ I) [通過率 48.7%]

複数形と単数形の区別がリスニングの聞き取りの中で聞き取れていない。

【課題 2】 11(1) 【根拠となる英文の読み取り】 (タイプ II) [通過率 48.8%]

長文読解力が不十分であり、特に表やグラフをみながら英文を読んで内容を理解する力が弱い。そのため、英文を読みとり、表に解答理由の根拠を求める問題の正答率がとても低かった。表やグラフを含む長文を読みとる力をつけさせることが優先課題である。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題 1】

- 単数複数をもう一度復習すると共に、リスニングもメモをとりながら聞く、リスニングポイントを与えて聞くなどの活動を授業の中に組み入れていく。

【課題 2】

- 表やグラフを含む長文を読みとる力をつけさせることが優先課題である。授業や宿題でグラフや表を含む英文を解く機会を増やしていく。

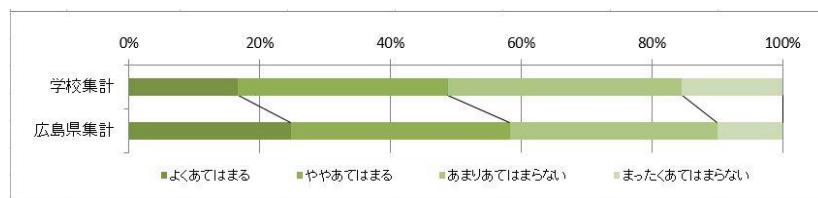
【課題 1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生中間試験			2年生 H29「基礎基本」		1年生 H29「基礎基本」	
目標値	60.0%			70.0%		60.0%	
実施後数値							

【課題 2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生中間試験		1, 2年生期末試験			1年生 H29「基礎基本」	
目標値	60.0%		70.0%			60.0%	
実施後数値							

# 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）

## （1）生活・学習

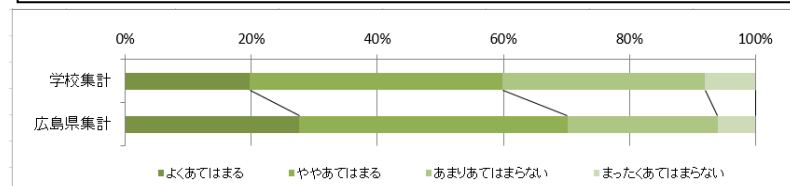
授業では、自分の考えを積極的に伝えています。



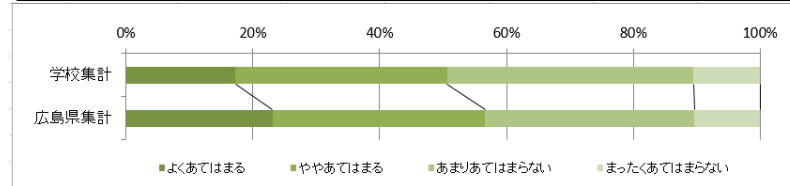
生徒の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
「対話的な学び」を促すためには、まず自分の考えをもち、表現することが必要である。また、それをより効果的に機能させるために学習規律の徹底図っている段階でもある。(48.8%)	継続して、学習規律の徹底を図る。合わせて、各教科の見方・考え方を意識して発問を行い、個人思考からグループ(ペア)討議、全体交流へとつなげる学習活動の場を設定していく。	2	65.0%	生徒アンケート調査	3学期		

## （2）教科

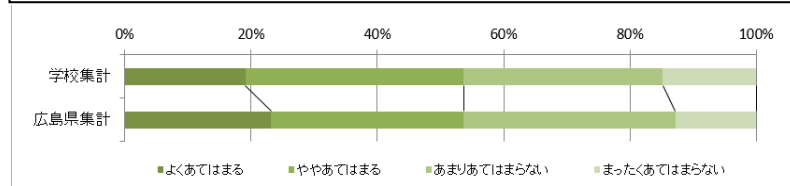
国語の授業の中で、目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしています。



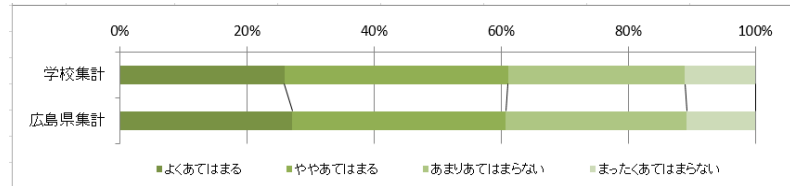
数学の授業では、解き方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。



理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。



英語の授業では、自分の考えや気持ち、事実などを話しています。



	生徒の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	条件に沿って、文章を書くことやグラフから情報や数値を読み取ることに對して、苦手意識があるり、思考が停止してしまいがちであることに課題がある。(59.9%)	継続して、条件に沿って文章を書く指導や設問の内容を理解した上で文章を書く指導を行う。またこの際、グラフを資料として用いて、資料の数値を読みとらせるような工夫を粘り強く行う。	2	75.0%	生徒アンケート調査	3学期		
数学	自分がわかっていることを、どう説明すればよいか悩んでいる。その背景には、解ければ良いと考えている生徒が多いと考えられる。(56.6%)	出た答に対し、なぜその答になったのかを思考する場を設け、他者に説明する活動をすることで、互いの理解も深めていきたい。	2	70.0%	生徒アンケート調査	3学期		
理科	自分の考えをまわりの人に伝えることに抵抗感を持っている。背景には、自分の考えに自信が持てないことが考えられる。(53.7%)	予想や考察をする際、個人思考をした後、ペアトークをする場面を積極的に取り入れる。他者の考えに触れることで自分の考えを深めるとともに、他者に伝える際の抵抗感を弱めたい。	2	70.0%	生徒アンケート調査	3学期		
英語	自分の気持ちを英文で表現することに困難さを感じていることや間違いや失敗を恐れて表現できない傾向が見られる。(61.1%)	新しい文法を学習した際に、ペアやグループで会話する場面や1分間で最近の出来事を話す場面を積極的に設定する。	2	75.0%	生徒アンケート調査	3学期		